

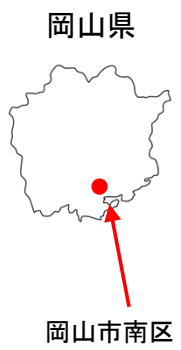
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 市南部の広大な干拓地で米麦を中心とした二毛作が盛んな地区。
- 農業者の高齢化に伴い、後継者不足が懸念される。地区の中心経営体は一定数いるものの、農地が分散しており、担い手への集積・集約が課題。

【支援内容・背景】

- 地区の農業の担い手の経営規模の拡大や経営の複合化等の取り組みを支援することにより、地区の農業の担い手の育成・確保及び農地の集積・集約を図る。
- 助成対象者は地区内で米麦を中心とした大規模経営を営む者であり、近年、経営面積も急速に拡大。経営面積及び作業受託の増加等に伴い、新たに高性能機械の導入を支援することで担い手への農地集積・集約のモデルとして育成・支援。



助成対象者「(株)A」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成22年 営農開始
- 平成22年 法人化
- 平成22年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

経営面積及び作業受託の増加を図るためには、作業の効率化を図る大型機械が必要。規模拡大に向け、水稻・麦の耕起、収穫作業の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】  
〈R元年度(H30決算)〉

- 付加価値額 37百万円
- 水稻 27ha
- ビール麦 39ha

《事業による整備内容》

- トラクター 1台他  
事業費 14,266千円  
(国費 3,962千円)
- コンバイン 1台  
事業費 13,720千円  
(国費 3,811千円)



【現在の経営状況】  
〈R4年度(R3決算値)〉

- 付加価値額 53百万円(143%)
- 水稻 44ha (162%)
- ビール麦 66ha(169%)

事業の  
効果

《対象者》 作業効率化により経営面積及び作業受託が増加し、付加価値額の拡大が実現。  
 《地区》 生産体制の強化と経営の安定化を図ることにより、作業受託の信頼性が高い中心経営体として地区の農地集積・集約化に貢献。